

多古町まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

人口ビジョン

多古町の人口の現状と課題

- **総人口**
 - ピークであった平成7年（18,201人）以降、減少が続き、平成22年には16,002人となった。
 - 国立社会保障・人口問題研究所（以下、社人研）の推計では、平成52年に10,077人と大幅に減少する見込である。
- **年齢3区分別人口**
 - 平成7年以降、年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）が共に減少し続けている。
 - 高齢化率は平成22年時点で29.6%まで上昇している。社人研の推計では、平成52年に43.0%まで上昇する見込である。
- **転入出**
 - 転出者数、転入者数共に長期的には減少傾向にある。
 - 転出は、男女とも10歳代後半から20歳代前半に集中している。
 - 女性の場合、20歳後半でも転出数が増える傾向だが、男性はやや転入超過となっている。
- **合計特殊出生率（※）**
 - 平成26年時点で国1.42、県1.32に対し、多古町は1.11と低い。
 - 過去10年間で最も高い値は、平成22年の1.58であった。
 - 若い女性の減少や未婚者の増加が課題である。

目指すべき人口の設定

- **平成52年（2040）年に11,000人を維持する**
- ◆ **若者の移動率を3割改善**
 - 社人研の推計よりも、0～15歳、25～49歳の移動率を3割改善させる。
- ◆ **合計特殊出生率を1.8まで改善**
 - 平成42年までに合計特殊出生率を1.8（町民アンケートの結果から算出した希望数値）まで改善させる。

総合戦略の実行

総合戦略（H27～H31年度の5か年）

基本目標と数値目標

1. 多古町に合った新たな雇用の場を創出する

- **従業者数**
平成24年：7,188人
→平成31年：7,550人

2. 若い世代が多古町で結婚・子育てしやすい環境をつくる

- **合計特殊出生率**
平成26年：1.11
→平成31年：1.62

3. 多古町の魅力を高め、定住・移住・Uターンを促進する

- **転入者数**
平成26年：438人
→平成31年：569人

4. 高齢者が元気に暮らせる仕組みを整える

- **後期高齢者1人当たりの医療費**
平成26年：707,647円
→平成31年：増加を抑える

具体的な施策と取組内容

① **基幹産業としての農業の強化**
新規就農者及び農業後継者の確保・育成、販路拡大、地産地消の推進、産地化の促進、6次産業化の推進、農業基盤整備の推進、農地の集約化及び耕作放棄地の解消、農業形態の大規模化・法人化・組織化の促進

② **地元企業への支援強化**
中小企業支援の充実、中小企業の後継者確保の支援、既存企業の採用活動支援、工業団地を経由する公共交通機関の整備検討、Uターン希望者等の地元就職支援

③ **成田空港に近い立地を生かせる業種・業態の誘致**
企業誘致の促進、未利用町有地の活用、成田空港に連携する道路の整備促進、起業・創業支援

① **通学・通勤圏の拡大**
町民の通学・通勤の利便性向上、地域公共交通網の維持

② **若い世代の転入を促す住宅支援**
住宅取得支援、優良住宅地の形成促進

③ **子育てサービスの充実と育てやすさのPRの強化**
こども園・学童保育・保育サービスの充実及び利用促進、図書館・教育環境の充実、保健・医療の充実、男女共同参画社会づくりの推進

④ **結婚を後押しする出会いの場創出**
結婚支援体制の整備、婚活支援事業の推進

① **食・観光のPR強化**
祭り・イベントの充実、道の駅多古の魅力向上、都市住民との交流促進、農産物の魅力発信、6次産業化の推進（再掲）、観光・プロモーション、各種媒体を活用した情報発信強化、成田空港周辺9市町観光情報の発信強化、ふるさと納税の促進

② **ふるさと意識の醸成**
奨学資金貸付制度の拡充、社会科副読本の活用促進、キャリア教育の拡充、Uターン者向け移住支援施策の充実、町外に向けた郷土情報の発信、小さな拠点づくりの検討

③ **成田空港への近さ・住みやすさPR**
各種媒体を活用した情報発信強化（再掲）、I・Jターン者向け移住支援施策の充実

④ **特色ある教育の推進**
奨学貸付資金制度の拡充（再掲）、ICTを活用した教育の充実、国際交流及び英語教育の拡充、キャリア教育の拡充（再掲）、学校施設の機能向上、多古高校との連携・コミュニティスクールの支援、小・中・高の連携教育の推進と交流学习の充実

① **高齢者の活動の場の提供**
高齢者の社会参加の促進、生涯学習活動の支援、地域の人材活用推進

② **地域の支え合い活動の促進**
協働・住民参加の促進、NPO及びボランティア団体の育成

③ **子どもの時からの健康づくり**
健康づくり・スポーツ環境の整備、健康づくりやスポーツに関するイベント・教室の開催、多古中央病院との連携強化、地産地消の推進（再掲）、食育の推進

重要業績評価指標(KPI)

- **農業生産法人数（年）**
15社（H26）⇒20社（H31）
- **認定農業者数（年）**
133人（H26）⇒150人（H31）

- **製造品出荷額等（年）**
447億円（H25）⇒550億円（H31）

- **誘致事業所数（年度、累計）**
1事業所（H22～26）
⇒5事業所（H27～31）

- **空港シャトルバス利用者数（年度、延べ）**
47,606人（H26）⇒60,000人（H31）

- **住宅取得奨励金交付事業利用世帯数（年度、累計）**
26世帯（H26）⇒100世帯（H27～31）
- **多古台分譲済区画数（年度末現在）**
76区画（H26）⇒128区画（H31）

- **待機児童数（年度）**
0人（H26）⇒0人を継続（H31）
- **子育て支援センター利用者数（年度、延べ）**
3,202人（H26）⇒5,000人（H31）

- **結婚支援事業実施回数（年度、累計）**
7回（H23～26）⇒15回（H27～31）

- **道の駅多古の売上高（年度）**
584百万円（H26）⇒620百万円（H31）
- **町内イベント集客数（年）**
48,000人（H26）⇒60,000人（H31）

- **10代の町に愛着がある人の割合（年度）**
67.7%（H27）⇒80%（H31）
- **キャリア教育企業・団体数（年度）**
200団体（H26）⇒220団体（H31）

- **町ホームページのアクセス数（年度）**
336,888件（H26）⇒400,000件（H31）

- **授業や家庭学習へ積極的に取り組む児童・生徒の割合（年度）**
69%（H26）⇒80%（H31）

- **シルバー人材センター登録者数（年度）**
175人（H26）⇒200人（H31）

- **ボランティア団体数（年度）**
15団体（H26）⇒20団体（H31）

- **町民体育館利用者数（年度、延べ）**
20,006人（H26）⇒30,000人（H31）
- **いきいき元気塾参加者数（年度、延べ）**
3,901人（H26）⇒13,000人（H31）

※合計特殊出生率：出産可能年齢（15～49歳）の女性に限定し、各年齢の出生率を足し合わせ、1人の女性が生涯、何人の子どもを産むか推計したものの。